

試料・情報利用研究計画書(概要)

審査委員会 受付番号	2019-3003_ JGCA-0007	利用 形態	共同研究	利用する 試料・情報	対象:TMM計画CommCohort Studyに登録されている成人のうち、ゲノムデータとベースライン時調査票および検査情報が利用可能な約87,000名、BirThree Cohort Studyに登録されている成人のうち、ゲノムデータとベースライン時調査票および検査情報が利用可能な約39,000名 試料:なし 情報:基本情報(性・年齢、身長、体重)、収縮期血圧、拡張期血圧、LDLコレステロール、HDLコレステロール、総コレステロール、中性脂肪、HbA1c、BMI、腹囲、既往歴、飲酒習慣、喫煙習慣、ジェノタイプ情報、脳卒中およびその他の循環器疾患の既往歴と当該疾患のリスク因子に関連する調査票情報および検査情報(健康診断データを含む)。				
主たる研究機関	国立がん研究センター			分担 研究機関	東北メディカル・メガバンク機構 いわて東北メディカル・メガバンク機構 日本多施設共同コホート研究の参画機関 多目的コホート研究の参画機関 慶應義塾大学 愛知県がんセンター				
研究題目	日本人における病型別脳卒中のゲノム要因				研究期間	承認日～2024年3月31日			
実施責任者	岩崎 基	所属	国立がん研究センター がん対策研究所疫学研究部			職位	センター長		
研究目的と意義	日本ゲノムコホート連携(JGCA)参加コホートにおける脳卒中(既往または罹患)及び病型別脳卒中(脳梗塞、脳出血、クモ膜下出血)のゲノムワイド関連解析(GWAS)を行い、脳卒中のリスク予測に資する遺伝要因および環境との相互作用を病型別に明らかにする。								
研究計画概要	1) 一般集団におけるGWAS JGCA参加コホートにおけるゲノム多型情報を用いて、脳卒中(既往または罹患)及び病型別脳卒中(脳梗塞、脳出血、クモ膜下出血)のGWASをコホートをプールまたは各コホート別に行つてメタアナリシスし、日本人の一般集団における病型別脳卒中と関連する遺伝要因を明らかにする。 2) 多遺伝子リスクスコア及びモデルの構築 1)または既報にもとづいて多遺伝子リスクスコアを構築する。JGCA参加コホートをモデル構築コホートとモデル評価コホートに分けて、それぞれモデルの構築と評価を行う。さらに脳卒中の既知のリスク要因(喫煙、飲酒、体格、血圧、脂質、耐糖能など)の影響または交互作用を考慮した分析を行う。								
期待される成果	本研究により遺伝的素因と環境要因に基づく種々の疾患や表現型の要因を解明することで将来的にゲノム情報に基づく疾患発症リスクと生活習慣改善を考慮した個別化予防が実現できる可能性がある。								
これまでの倫理 審査等の経過	2020年10月 東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会承認								
倫理面、セキュリ ティー面への配慮	・人を対象とする生命科学、医学系研究の倫理指針のほか、別途締結する共同研究契約を遵守して遂行します。 ・試料・情報は、個人が特定できないよう加工したうえで、高度なセキュリティと厳正なアクセス管理が担保されたスーパーコンピュータ内に限って利用します。								
その他特記事項	本研究は倫理審査承認済課題「大規模ゲノムコホート連携による疾患発症や中間表現型等にかかわる遺伝的素因の解明と遺伝環境相互作用解析」の取り組みの中の個別課題として実施します。								

※公開日 令和4年10月6日